

RTX Sparkが変える知財実務：クラウドの機密リスクを破る「128GBローカルAI」

特許ドラフティングや調査業務へのLLM活用が進む中、外部クラウドの利用は「新規性喪失」や「守秘義務違反」の深刻なリスクを伴います。128GB統合メモリを備えたNVIDIA RTX Sparkは、超大規模モデルを端末内で完結動作させ、漏洩リスクゼロの安全な知財AI環境を実現します。

課題：知財実務におけるクラウドLLMの致命的リスク



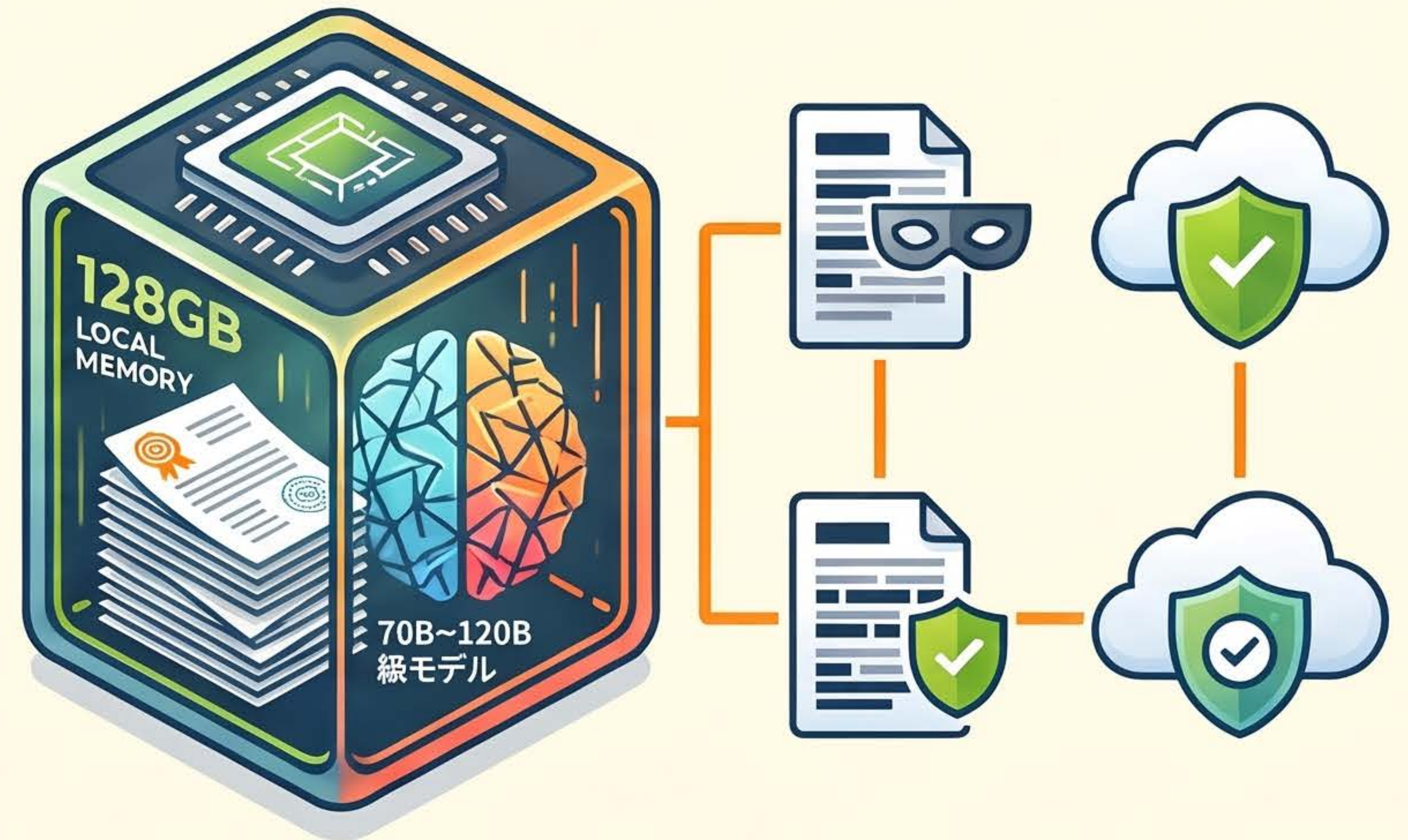
未公開発明の 「新規性喪失」リスク

クラウド送信により公知とみなされ、特許権取得の道が閉ざされる危険性。

弁理士の厳格な 「秘密保持義務」違反

依頼者の承諾なしに未公開データを外部AIへ入力する行為は法的に厳禁。

解決策：RTX Sparkによる完全オンデバイスAI環境



128GB統合メモリで 超大型モデルをローカル処理

70B~120B級モデルや数十万トークンの明細書を外部に送らず完全処理。

安全性を最大化する 「二段階ハイブリッド」運用

ローカルで固有技術をマスキング後、安全にクラウド高度モデルと連携。